

# 建築学系（学士課程）

## アドミッション・ポリシー（求める人材像と求める力）

建築学系では、次のような人材を求めます。

- ・理数分野を中心として幅広い分野について十分な基礎学力を有し、柔軟かつ自由な発想、思考、創造ができること
- ・建築・都市・社会に興味を持ち、課題に果敢に挑戦する気概、専門科目を積極的に学ぶ努力を継続できること
- ・建築学の知見を活かし文明・文化の発展に貢献する品格を伴った志を有すること

## アドミッション・ポリシー（入学者選抜方針）

### 【一般入試（前期）】《全類共通》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、高等学校の段階の学力確認を行うとともに、本学で学ぶために必要となる、数学、物理、化学および英語に関わる基礎学力ならびにこれを応用する力、論理的な思考力を評価する試験を行います。

### 【特別入試（AO入試）】

#### 《6類》

求める能力と適性を有する人材を選抜するために、以下の内容で試験を行います。

（A：造形課題，B：筆記・面接，C：面接のいずれかの試験を選択）

#### A：造形課題

建築に関する思考に必要となる3次元の空間把握・表現についての能力を評価します。

#### B：筆記・面接

国内外の社会や環境に関わる公共的な課題に対して、問題の所在を整理し、解決策を提示できる能力並びに表現の能力を試します。

#### C：面接

グローバル化する世界における様々な国際的な環境・社会問題に対して、科学技術を活用して問題解決に貢献するための素養を、面接によって評価します。

# 建築学系（学士課程）

## カリキュラム・ポリシー（教育内容）

本系では、「ディグリー・ポリシー（修得する力）」を身につけるために、次のような内容の学修を行う。

### A) 建築学分野の専門基礎学修

必修科目による建築学基礎の学修、及び実験・演習・実習を介したそれら基礎理論の実践的学修。

### B) 建築学の応用学修

専門基礎科目に対応した必修科目である実験と、豊富な専門選択科目による理論の応用を学ぶ学修。

### C) 広い視野を養い、主体的に進める学修

社会と自然を正しく理解し、最新の工学・学術的知見を利用して未来の建築技術の創造に挑戦する構想力および研究・技術開発能力主体的に取り組む力をつける学修

### D) 社会との関わりを追体験する学修

社会で活躍する講師陣らによる、専門科目を通しての追体験学習や技術者倫理学修

### E) コミュニケーション能力の強化学修

国際的な視野から研究、創作、技術開発を進め、自分の意見を論理的に表現する必要な語学力、コミュニケーション能力を養成する学修。

## ディグリー・ポリシー（修得する力）

建築学系では、次のような力を修得することができる。

- ・ 建築学に関わる研究、創作、技術開発に必要な専門学力と理工系基礎学力および論理的思考力
- ・ 俯瞰的な視点から新たな方向性を見出すために必要な幅広い教養
- ・ 研究、創作、技術開発における論理的な思考力、創造力、企画力、表現力
- ・ 倫理観をもって未知の世界に挑戦する力
- ・ 国際的な視野から研究、創作、技術開発を進めるために必要な語学力、コミュニケーション能力